

# 東テクグループ 2024年3月期 決算補足資料

---

東テク株式会社

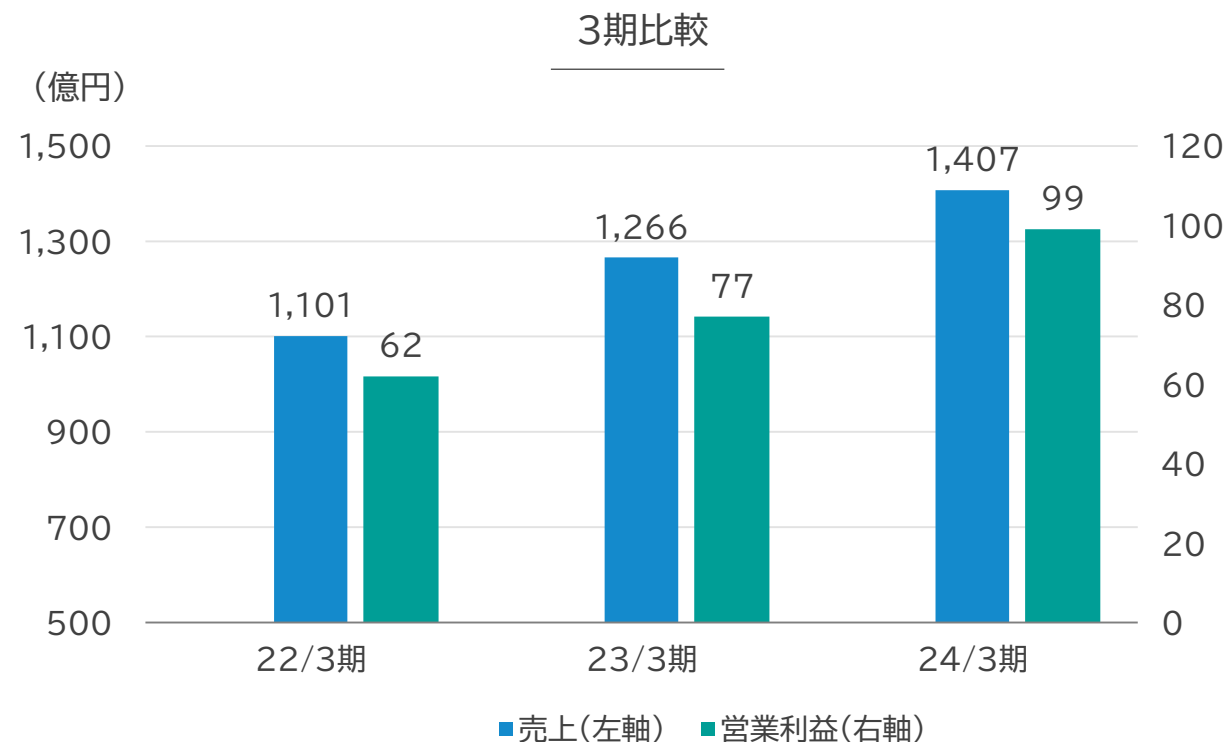
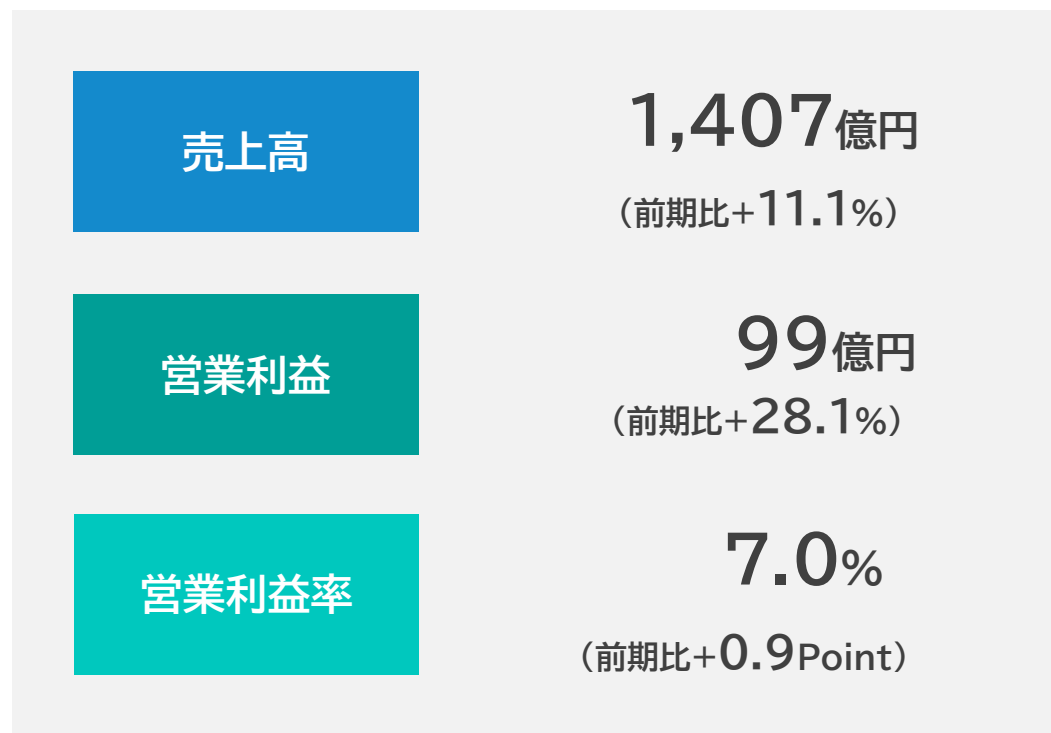
---

2024年5月15日



## 業績：過去最高の売上高と利益を達成

- 大都市を中心とした再開発の新築需要に加え、カーボンニュートラルを見据えたりニューアル需要、データセンター需要等の取り込みにより商品販売事業、工事事業ともに好調。旺盛な需要を背景に、二桁の増収に加え粗利率も前期並みを確保できたことにより各段階利益も増益となり営業利益は前期比+28.1%の99億円、経常利益も前期比+29.5%の105億円と過去最高益となった。
- コア事業の空調分野、計装分野、エネルギー分野ともに伸長し、国内海外関係会社業績も堅調に拡大。
- 受注状況も堅調で、第一次中期経営計画(2023~2025年度)を上方修正。

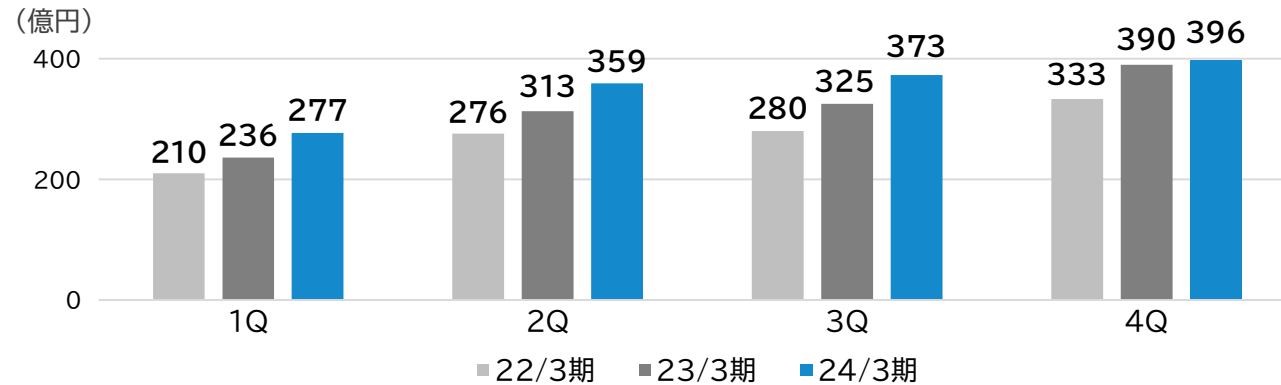


- 売上高は前期比+11.1%と好調に推移。
- 旺盛な需要の中で、採算を重視した工事案件の獲得の促進、また保守・メンテナンスも順調に伸び営業利益は前期比+28.1%。
- 各関係会社の業績も好調で、経常利益は105億円、当期純利益も70億円と過去最高益。

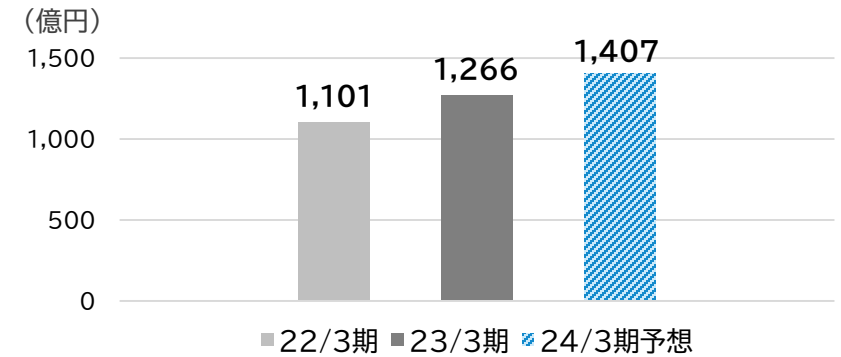
(億円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	利益率 %	前年同期比率 %	公表予算 予算比 %
売上高	1,101	1,266	1,407	—	+11.1%	1,400 (+0.5%)
営業利益	62	77	99	7.0%	+28.1%	100 (Δ1.0%)
経常利益	71	81	105	7.5%	+29.5%	105 (+0.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	52	70	5.0%	+33.9%	67 (+4.5%)

- 良好な受注環境を背景に、工事案件の増加が通期営業利益に大きく貢献。

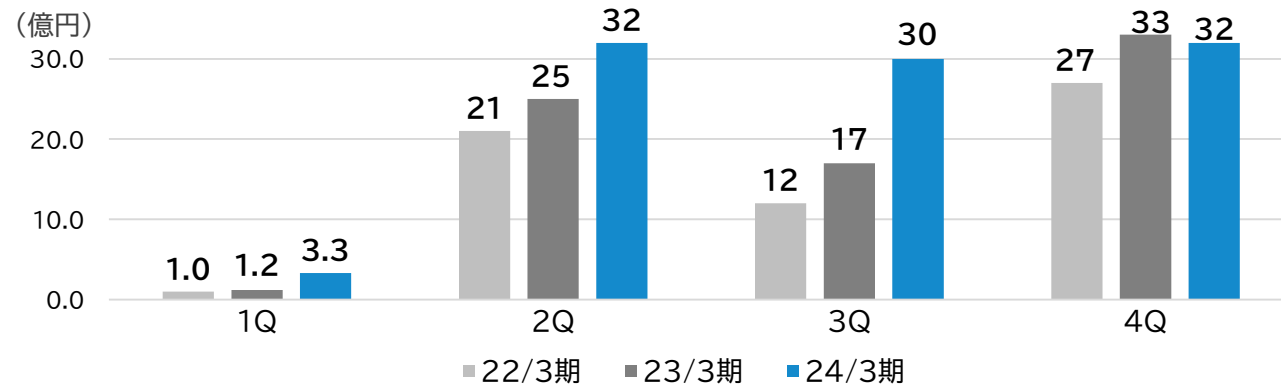
### 四半期毎の売上高推移



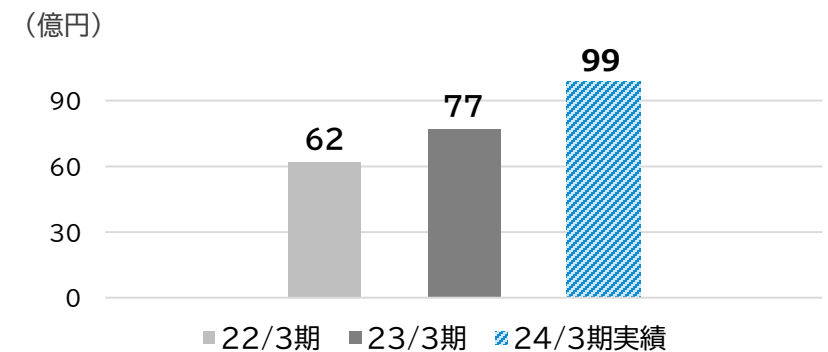
### 期末累計の売上高推移



### 四半期毎の営業利益推移

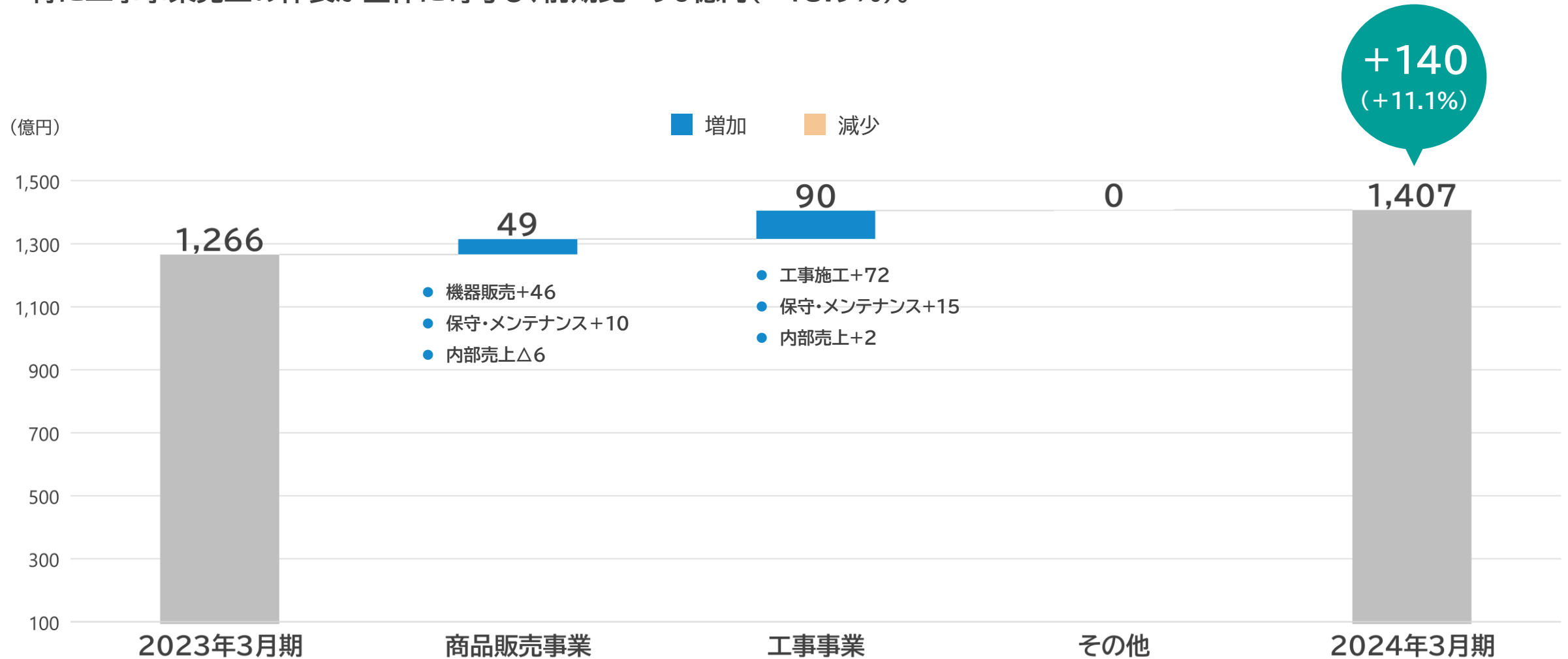


### 期末累計の営業利益推移



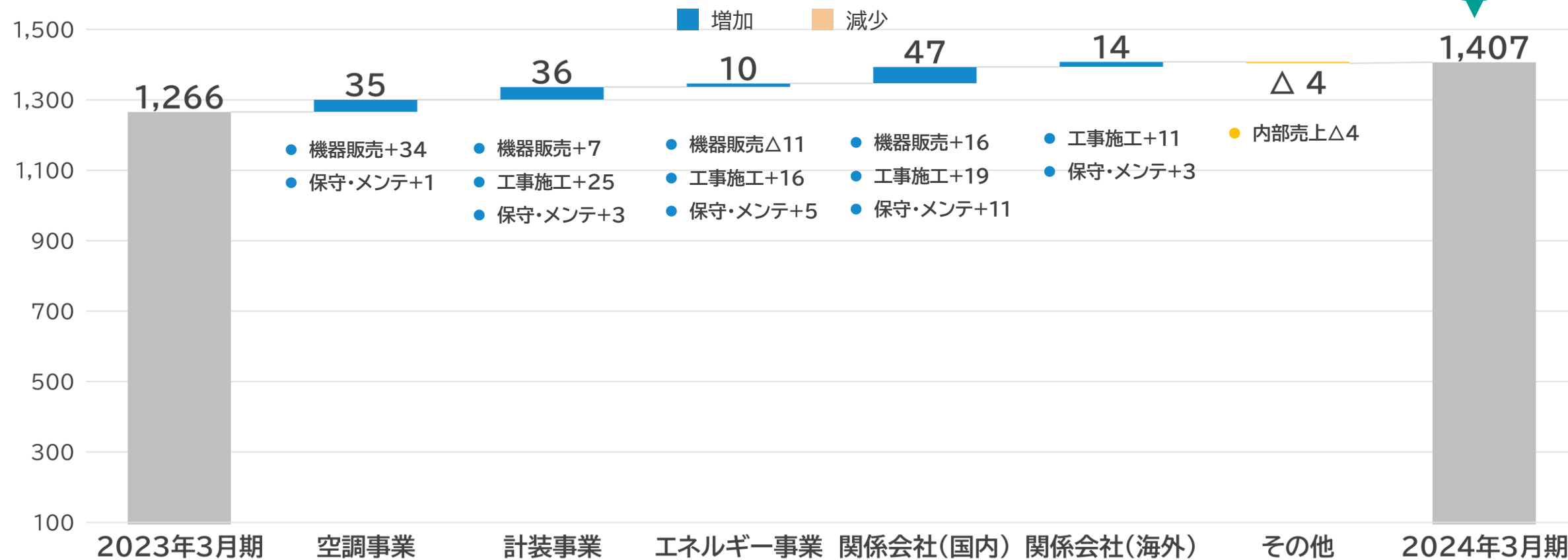
# セグメント別 売上高増減要因

- 商品販売事業、工事事業ともに堅調に推移し、保守・メンテナンスも同様に推移。特に工事事業売上の伸長が全体に寄与し、前期比+90億円(+18.9%)。



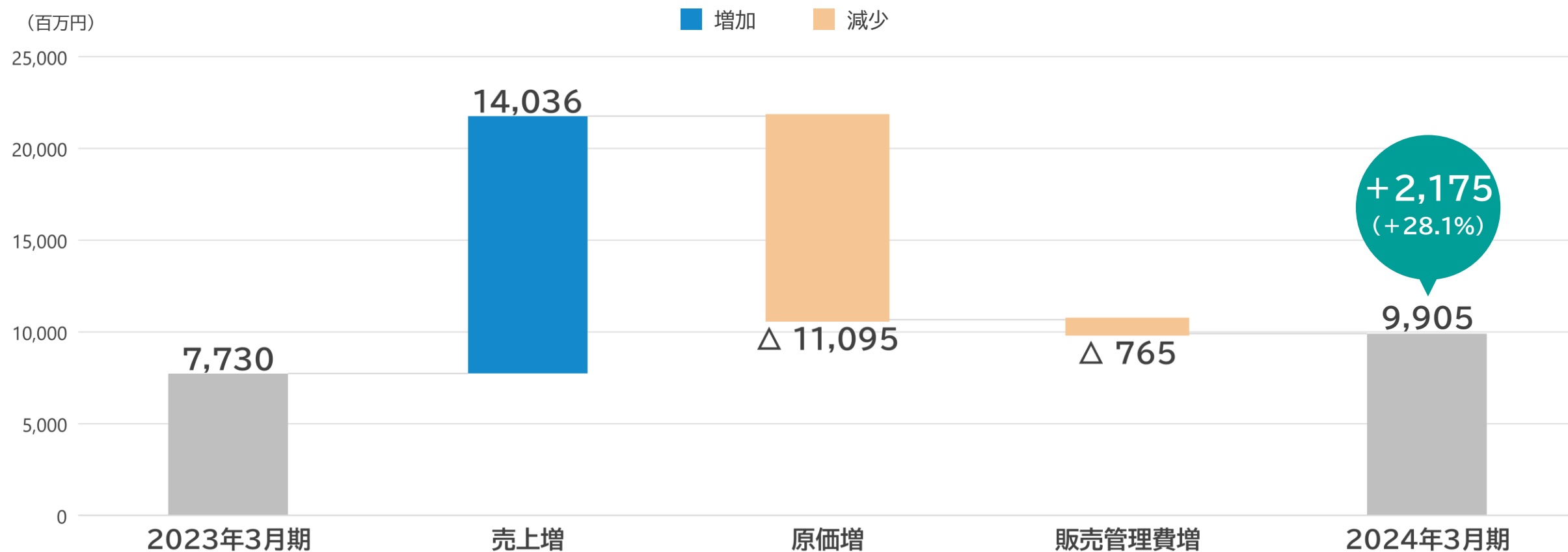
- 良好な受注環境を背景に、全事業領域で、前期比で増収。
- 各事業、国内海外関係会社において工事施工が順調に伸び、保守・メンテナンスも堅調。

(億円)



**+140**  
(+11.1%)

- 売上高の増加(前期比+11.1%)に伴う総利益の伸長により、原価並びに販売管理費(ベースアップ分の人件費増等)の費用増を吸収し、前期比+28.1%の2,175百万円増益。



- 商品販売事業、工事事業ともに売上高は堅調に推移。（商品販売事業：前期比+6.3%、工事事業：前期比+18.9%）  
保守・メンテナンスも前期より良い伸長率。
- 特に工事事業セグメントの伸びは、全体の利益に貢献。

	2023年3月期	2024年3月期	
	売上高(億円)	売上高(億円)	前期比
<b>商品販売事業</b>	<b>788</b>	<b>838</b>	+6.3%
機器販売	691	737	+6.7%
保守・メンテナンス	139	149	+7.5%
内部売上	△41	△48	-
<b>工事事業</b>	<b>477</b>	<b>568</b>	+18.9%
工事施工	399	472	+18.2%
保守・メンテナンス	84	100	+18.0%
内部売上	△6	△4	-



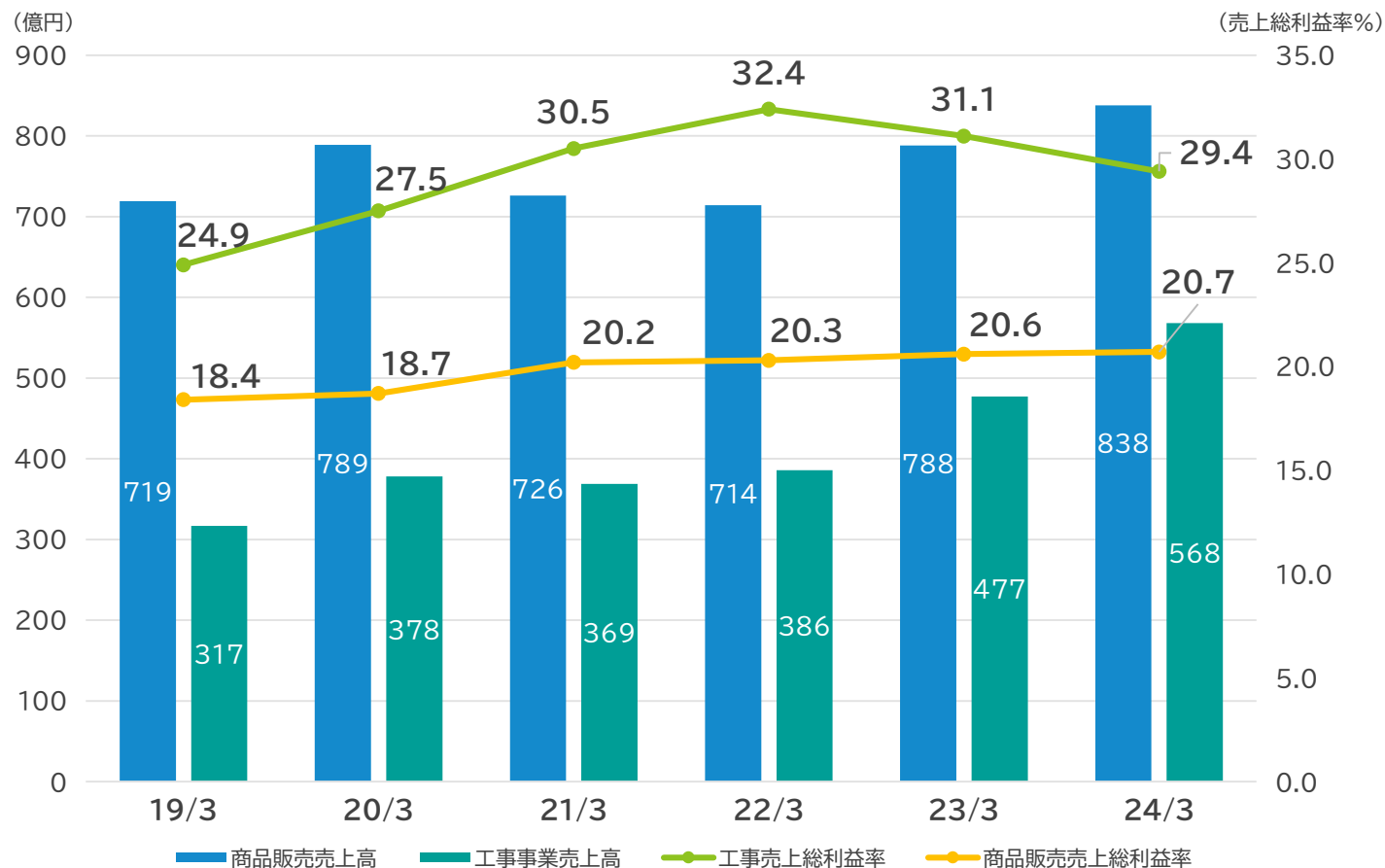
- 計装事業、国内海外関係会社が特に伸長。
- エネルギー事業の機器販売(前期の大口売上の反動)以外は、全ての事業区分で前期比で増収。

	2023年3月期	2024年3月期	
	売上高(百万円)	売上高(百万円)	前期比
<b>空調事業</b>	<b>61,512</b>	<b>65,110</b>	<b>+5.8%</b>
機器販売	58,563	61,995	+5.9%
保守・メンテナンス	2,949	3,114	+5.6%
<b>計装事業</b>	<b>19,911</b>	<b>23,564</b>	<b>+18.3%</b>
機器販売	856	1,584	+85.0%
工事施工	16,388	18,980	+15.8%
保守・メンテナンス	2,665	2,999	+12.5%
<b>エネルギー事業</b>	<b>14,688</b>	<b>15,725</b>	<b>+7.1%</b>
機器販売	4,195	3,026	△27.9%
工事施工	7,759	9,378	+20.9%
保守・メンテナンス	2,732	3,320	+21.5%
<b>関係会社(国内)</b>	<b>31,522</b>	<b>36,243</b>	<b>+15.0%</b>
機器販売	5,484	7,127	+29.9%
工事施工	13,654	15,583	+14.1%
保守・メンテナンス	12,383	13,532	+9.3%
<b>関係会社(海外)</b>	<b>3,811</b>	<b>5,277</b>	<b>+38.5%</b>
工事施工	2,132	3,260	+52.9%
保守・メンテナンス	1,678	2,017	+20.2%
<b>内部売上</b>	<b>△4,782</b>	<b>△5,232</b>	<b>-</b>

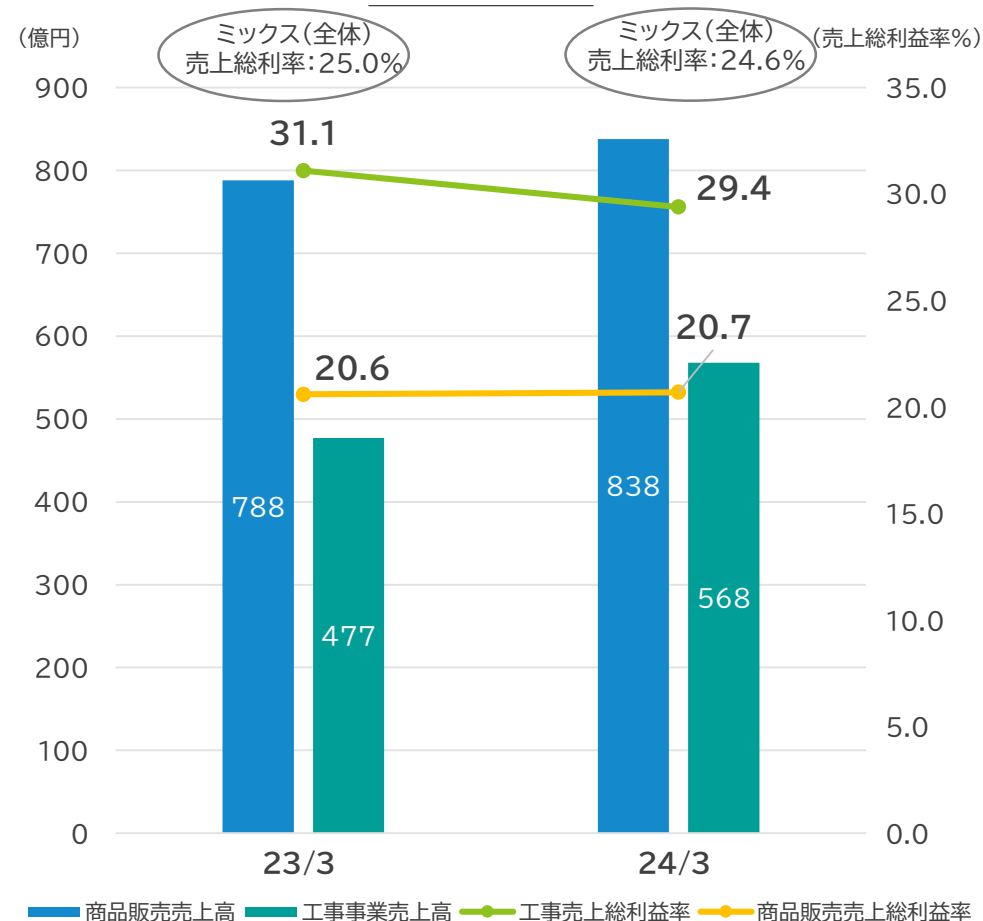
# セグメント売上高・売上総利益率推移

- 商品販売事業は売上総利益率は前期比+0.1ポイント、工事事業の売上総利益率は大規模案件が進捗している結果、前期比△1.8ポイント、ミックスでの売上総利益率は24.6%と前期比△0.4ポイント。

過去5年推移



前期比較

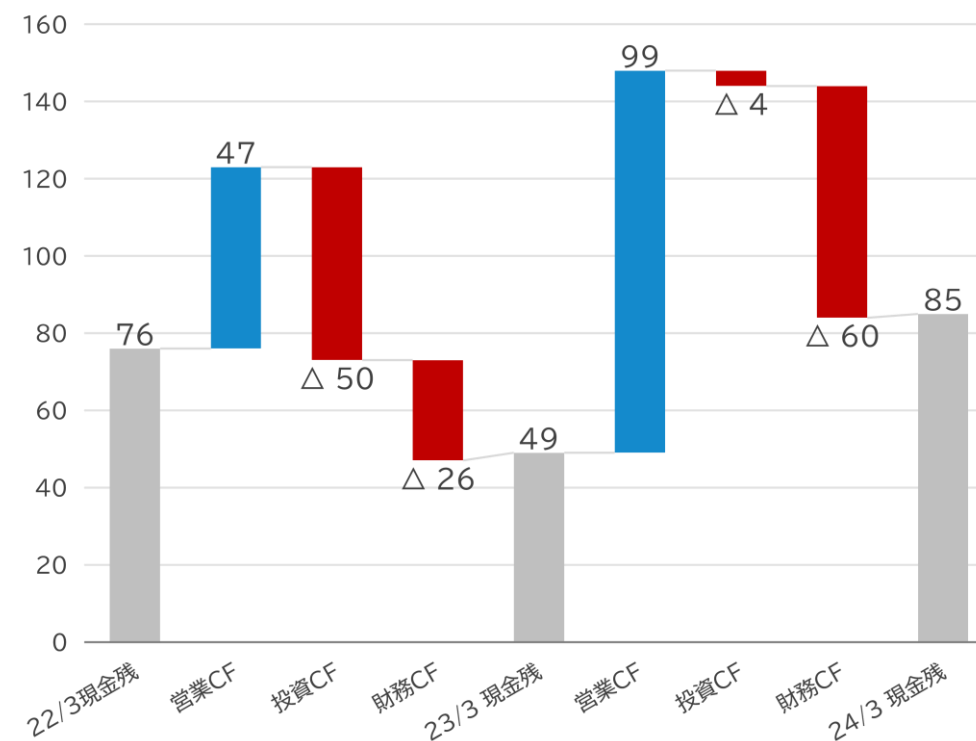


# 貸借対照表 & キャッシュフロー

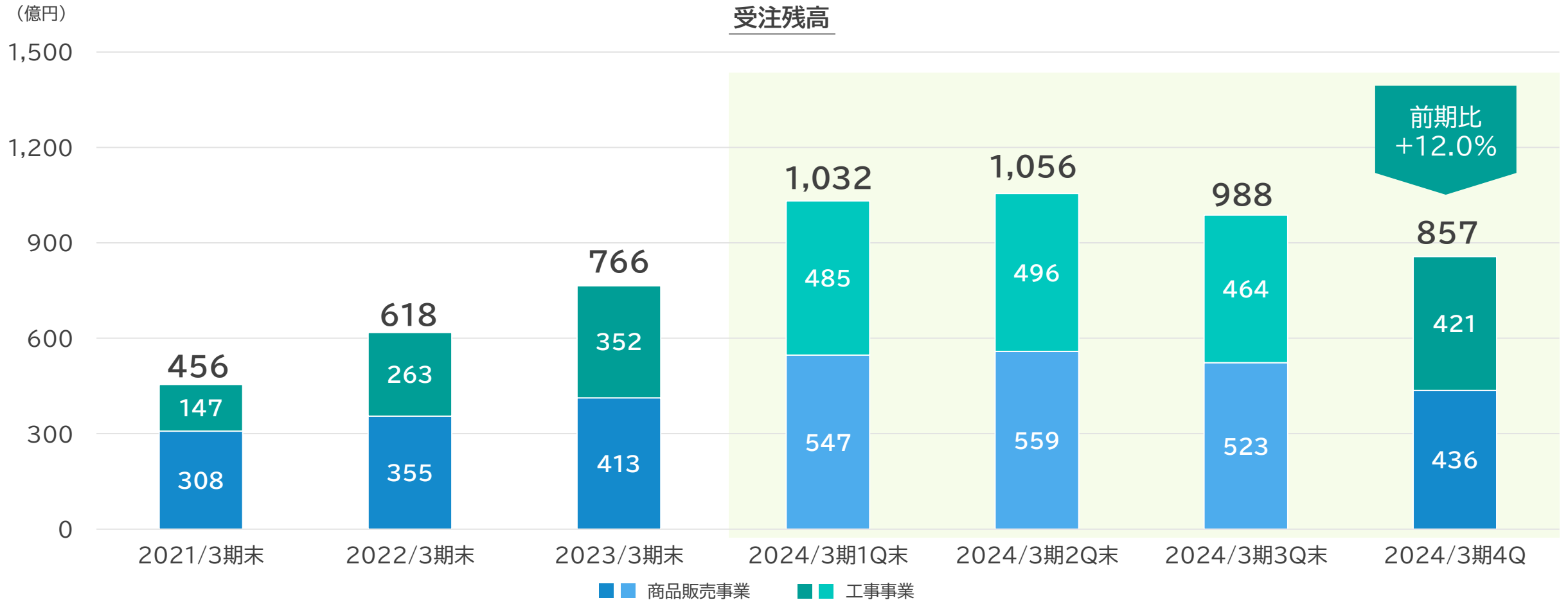


(億円)	2023年3月期	2024年3月期	増減額
<b>流動資産</b>	501	559	+58
現預金	60	86	+26
受取手形及び売掛金及び契約資産、電子記録債権	373	407	+33
棚卸資産	44	44	Δ1
その他	22	22	+0
<b>固定資産</b>	419	445	+25
有形固定資産	206	202	Δ3
無形固定資産	43	33	Δ10
投資その他の資産	169	209	+39
<b>総資産</b>	920	1,004	+84
<b>流動負債</b>	377	391	+14
支払手形及び買掛金、電子記録債務	225	238	+13
短期借入金	67	53	Δ14
その他	84	99	+15
<b>固定負債</b>	87	78	Δ9
長期借入金	55	36	Δ18
その他	32	41	+9
<b>純資産</b>	454	534	+79
株主資本合計	396	443	+46
その他包括利益累計等	58	90	+32
<b>負債純資産合計</b>	920	1,004	+84
<b>自己資本比率</b>	49.4%	53.2%	+3.8%

(億円)	2023年3月期	2024年3月期
<b>営業CF</b>	47	99
<b>投資CF</b>	Δ50	Δ4
<b>フリーCF</b>	Δ2	95
<b>財務CF</b>	Δ26	Δ60
<b>現金等残</b>	49	85



- 受注環境は旺盛な需要に対し、供給面も勘案した戦略的な受注獲得を推進し堅調に推移(受注残は前期比+12.0%)。
- 工事事業の受注残も割合高く確保(商品販売受注:前期比+5.4%、工事受注:前期比+19.6%)。



※2022/3期より海外子会社(QA)含む

(億円)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減率
売上高	1,407	1,460	+3.7%
営業利益	99	105	+6.0%
経常利益	105	110	+3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	70	75	+7.1%

## 【事業環境見通し】

当社グループを取り巻く建設業界は都市部を中心に大型の再開発案件が継続されるものと期待されますが、原価の上昇や物流コスト増が予想されます。また、社員のモチベーション向上や優秀な人財獲得を企図しグループとして給与水準を引き上げるため販管費の増加を見込んでおります。経営環境は不透明な状況が続くことが見込まれますが、中期経営計画にもとづく事業拡大方針の実行により、増収・増益を目指してまいります。

# 配当政策 これまでの配当実績と当期予想



2022年3月期より、「連結配当性向40%を目安とする」ことを基本方針に据えた。  
 前期配当は年間配当を期初の182円から205円へ23円増配(3分割前)

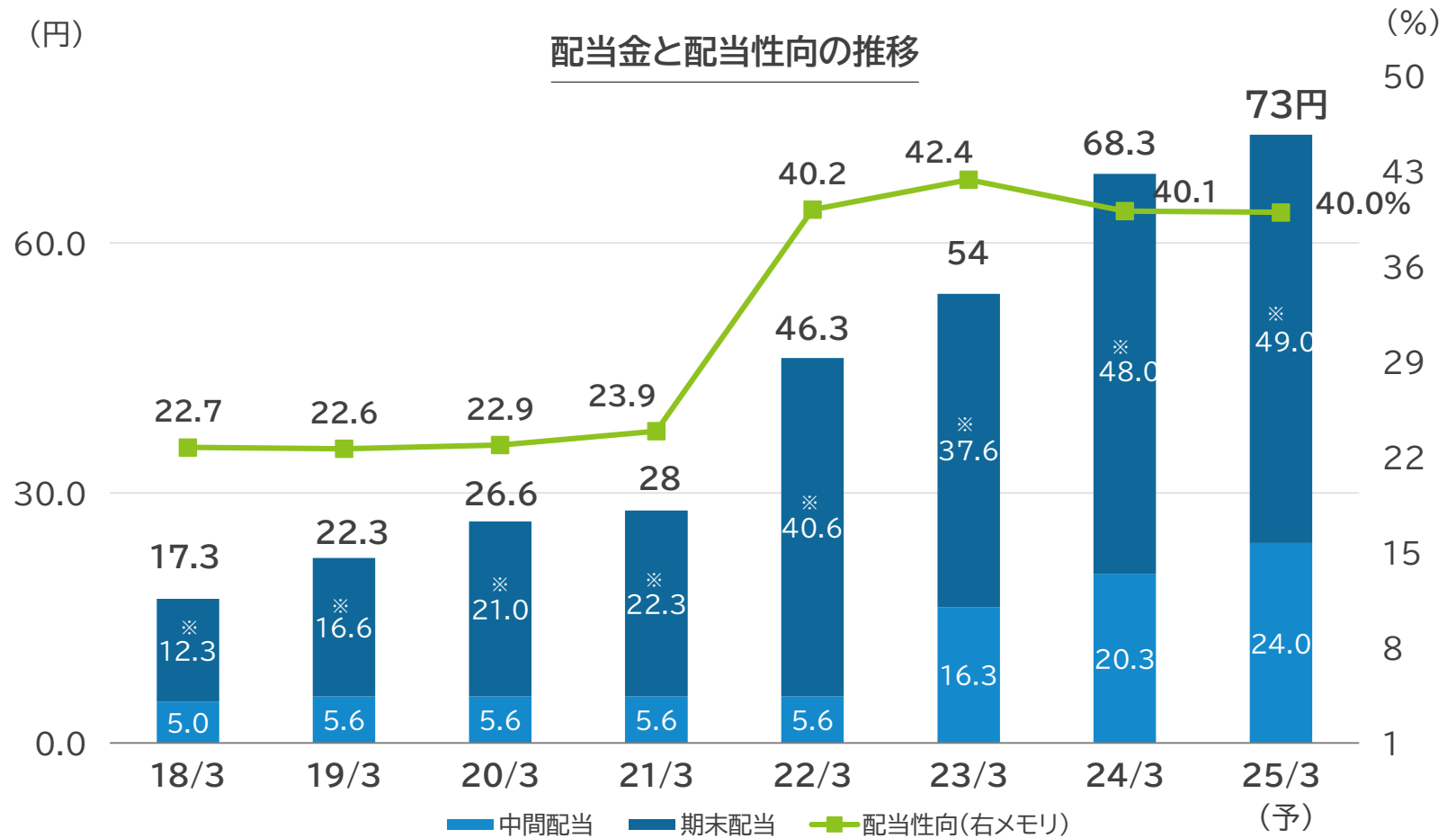
2024年4月1日より、株式の3分割を実施。分割後の今期配当予想は73円(配当性向40%)を予定。

## 利益還元方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけており、効果的な業務運営による収益力の向上、財務体質の強化を図りながら業績に裏付けられた成果の配分を行う

## 具体的な指標

具体的な指標として連結配当性向40%を目安におき、業績に応じた継続的かつ安定的な配当を実施



\* 2024年4月1日より株式の3分割を実施しております。過去の配当金につきましては、分割後の株式数にて算出しております。

# 資本コストを意識した企業価値向上に向けて

当社の想定する株主資本コストは、投資家の期待リターンも踏まえ、7%程度と認識。

直近5年のROEは毎年10%以上で推移、エクイティスプレッドはプラスの状態を維持。

## 主要財務指標

自己資本比率	50%前後
PBR	1倍以上
ROE	12%以上

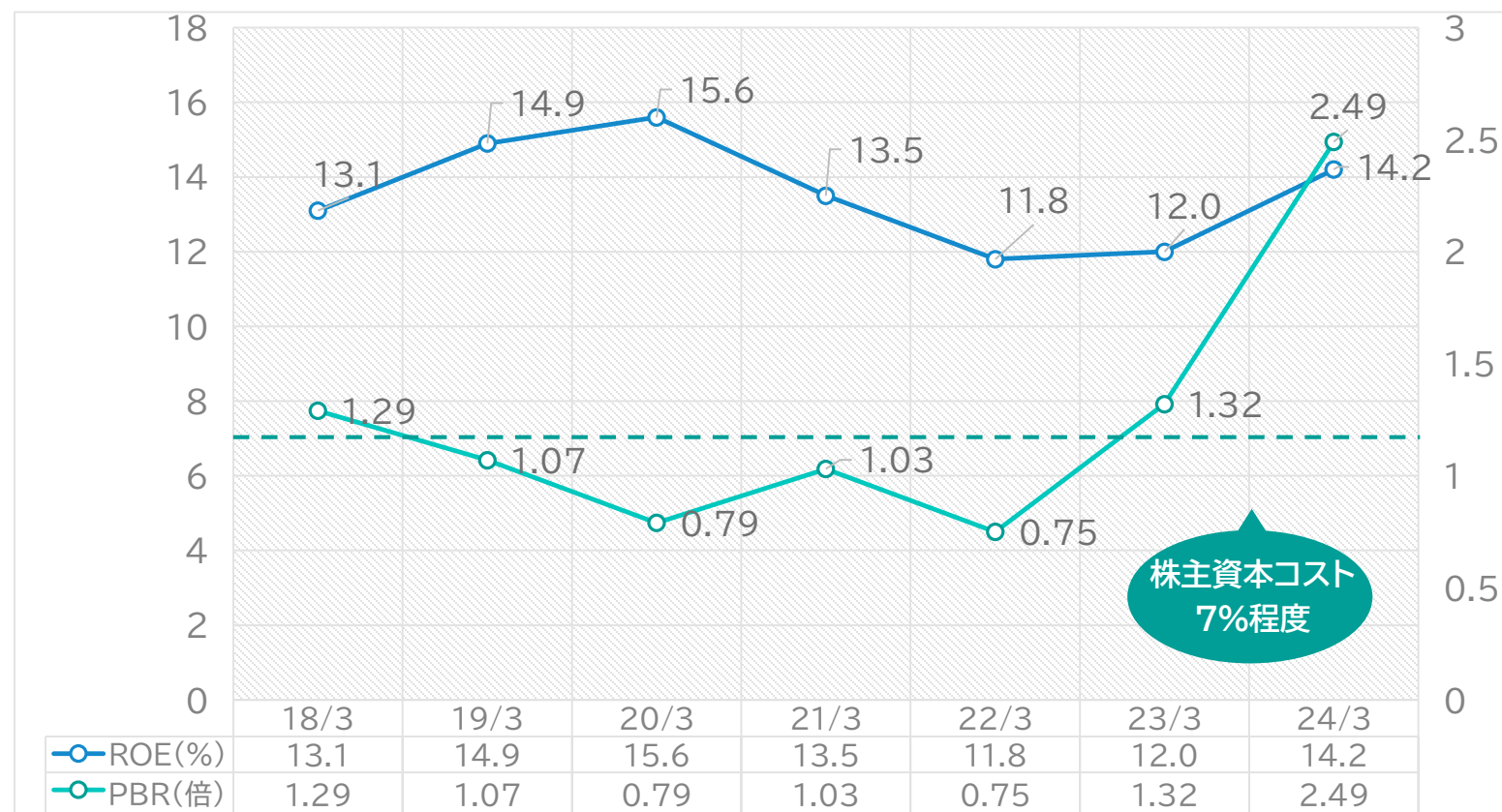
株主資本  
コスト



ROE

PBR

安定的かつ継続的に  
1倍以上を維持



# 第一次中期経営計画の最終年度目標を上方修正

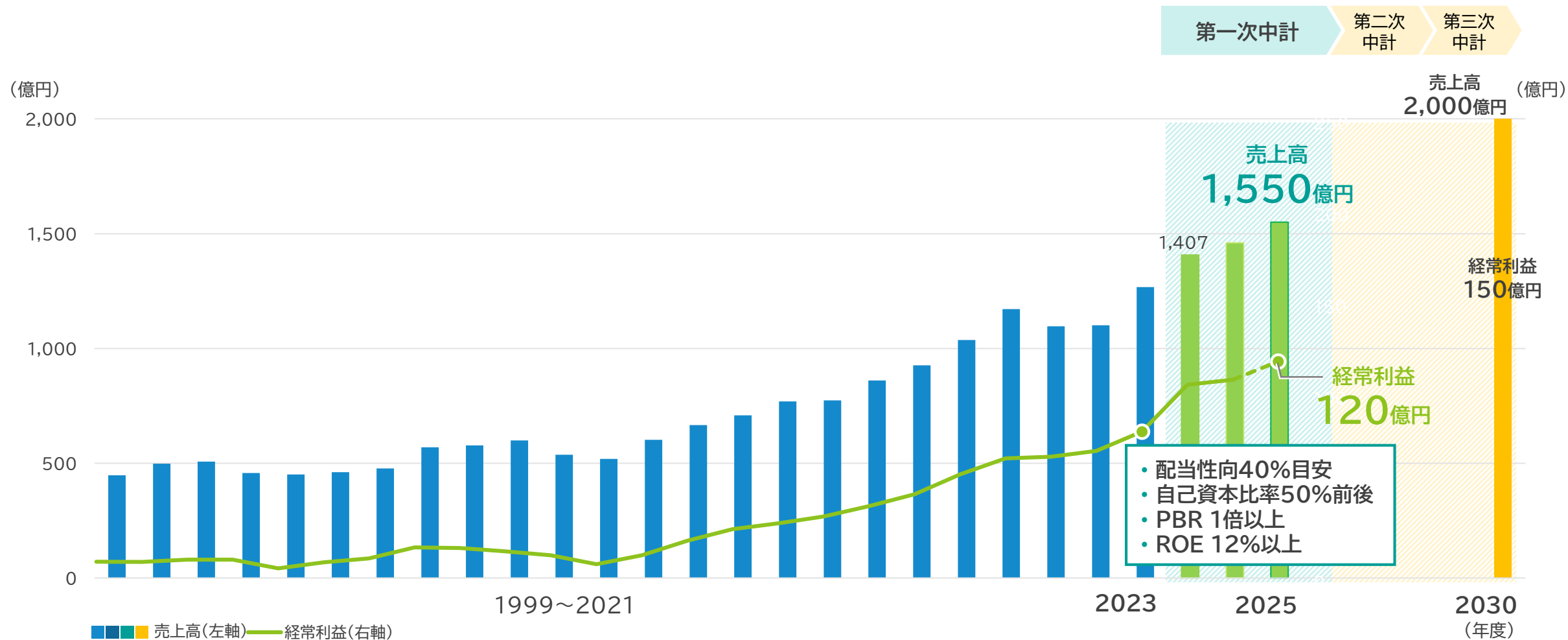
足元の業績推移を鑑み、中計最終年度の2026年3月期(2025年度)の計画数値を上方修正

	<1年目>		<2年目>	<3年目>		
	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 見通し	2026年3月期 目標(2025年度)		2026年3月期 目標修正(2025年度)
売上高	1,266億円	1,407億円	1,460億円	1,500億円	➡	1,550億円
経常利益	81億円	106億円	110億円	100億円	➡	120億円
経常 利益率	6.5%	7.5%	7.5%	6.7%	➡	7.7%
ROE	12.0%	14.2%	—	10%以上	➡	12%以上



# 東テックグループの中長期成長目標

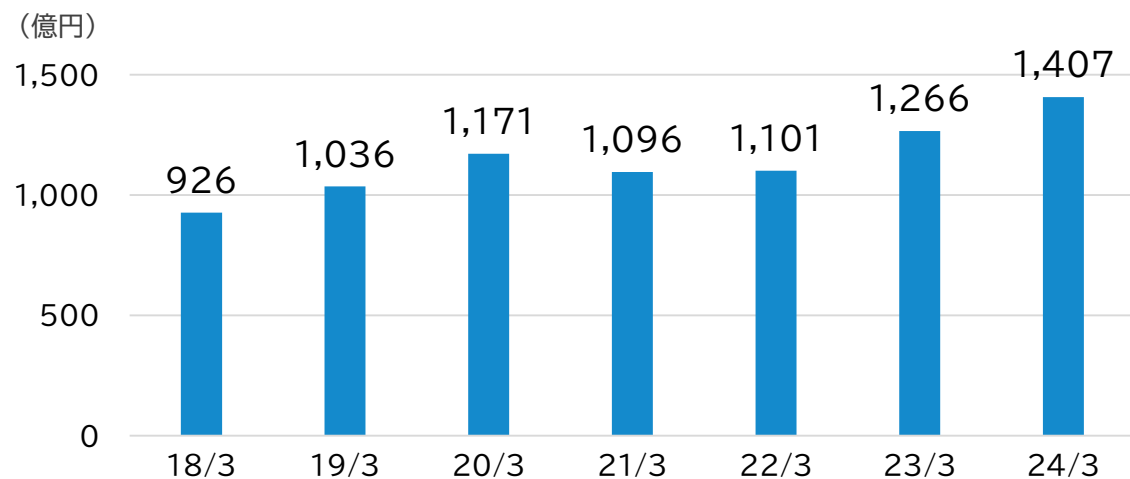
中長期目標として、2030年度に売上高2,000億円、経常利益150億円、第一次中期経営計画として、2025年度に「人にここちよい」経営を実現し、売上高1,550億円、経常利益120億円を目指します。



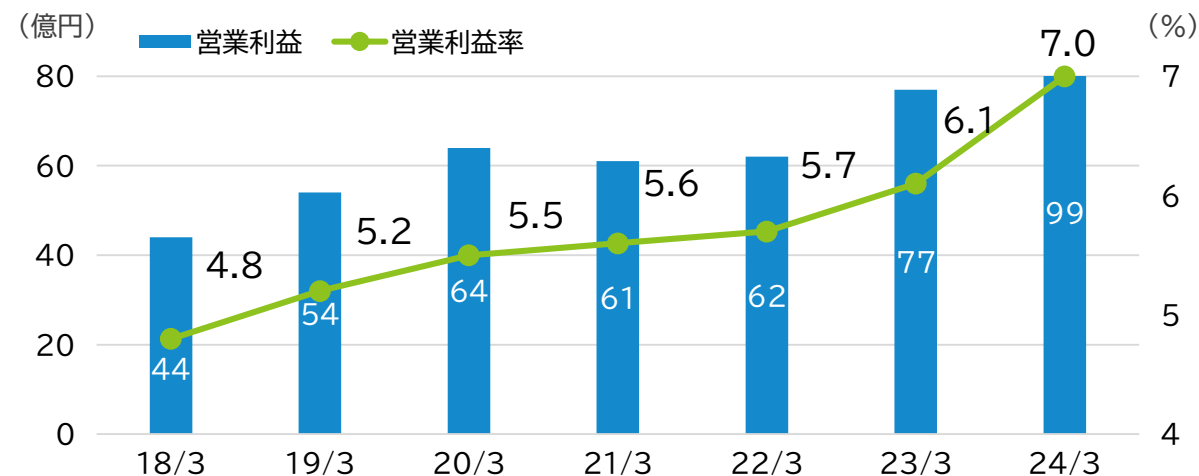
# < APPENDIX >

<連結>

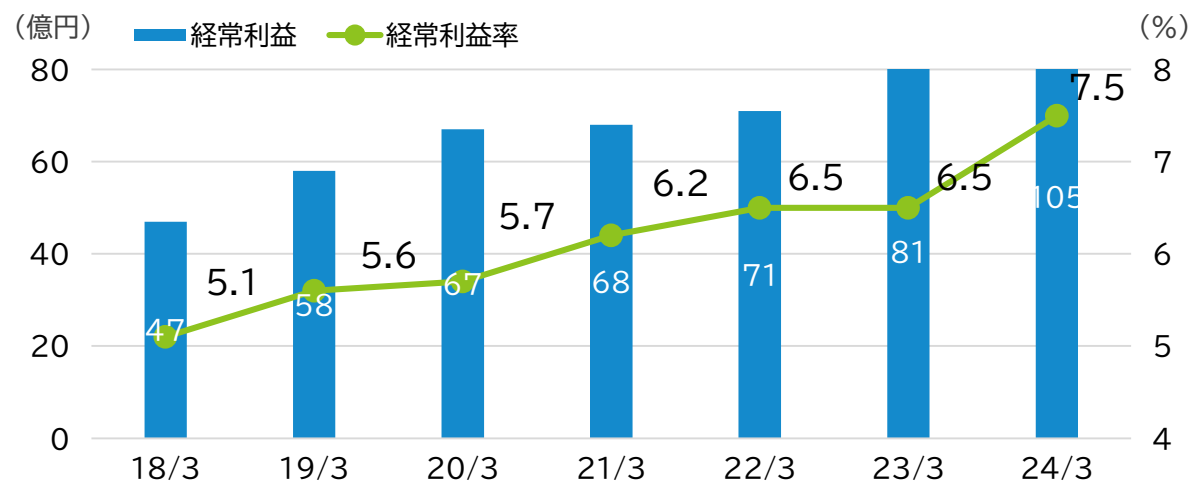
## 売上高



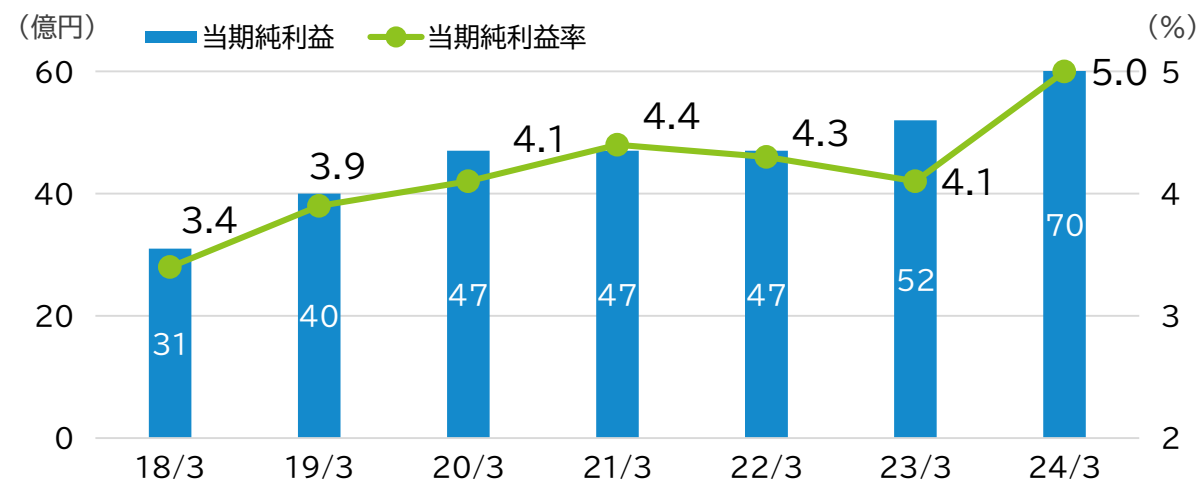
## 営業利益



## 経常利益

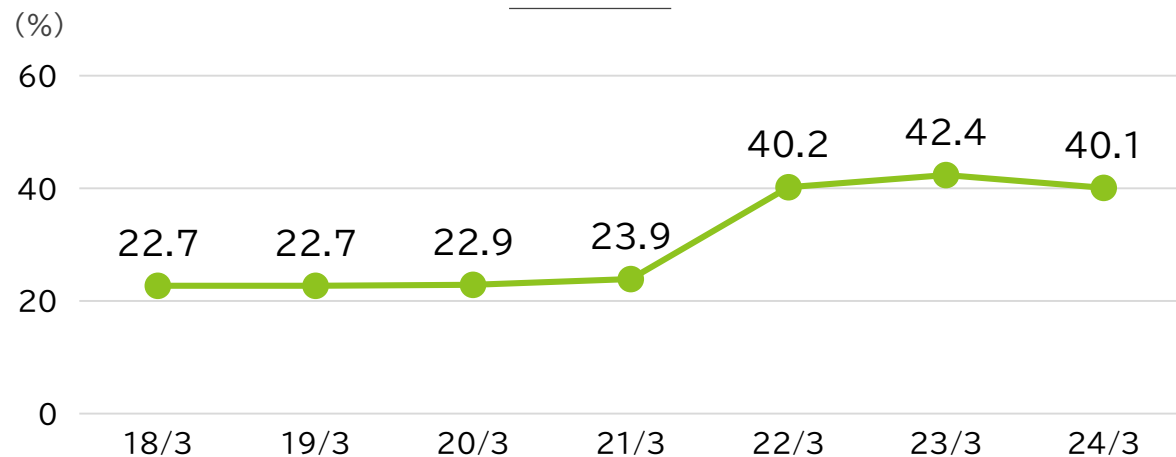


## 当期純利益

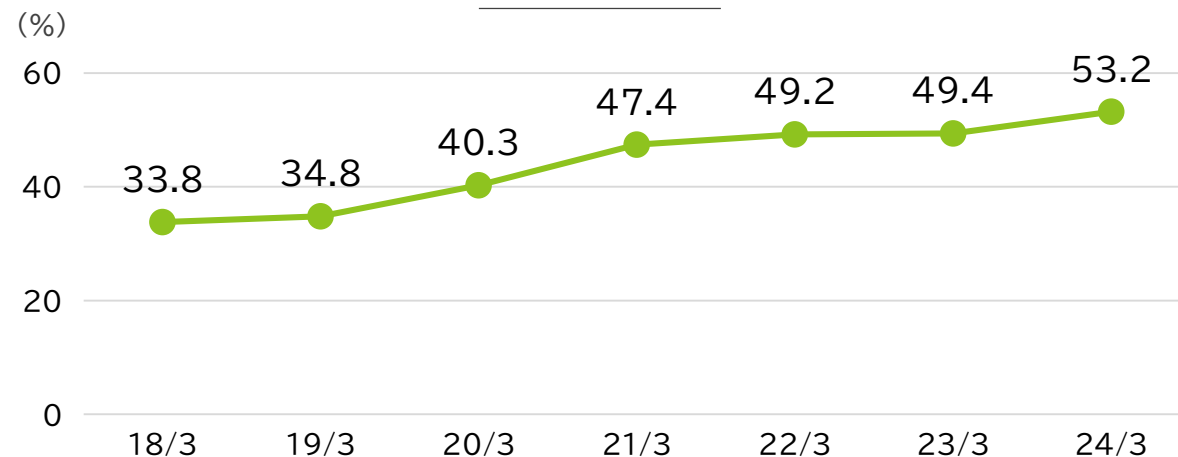


<連結>

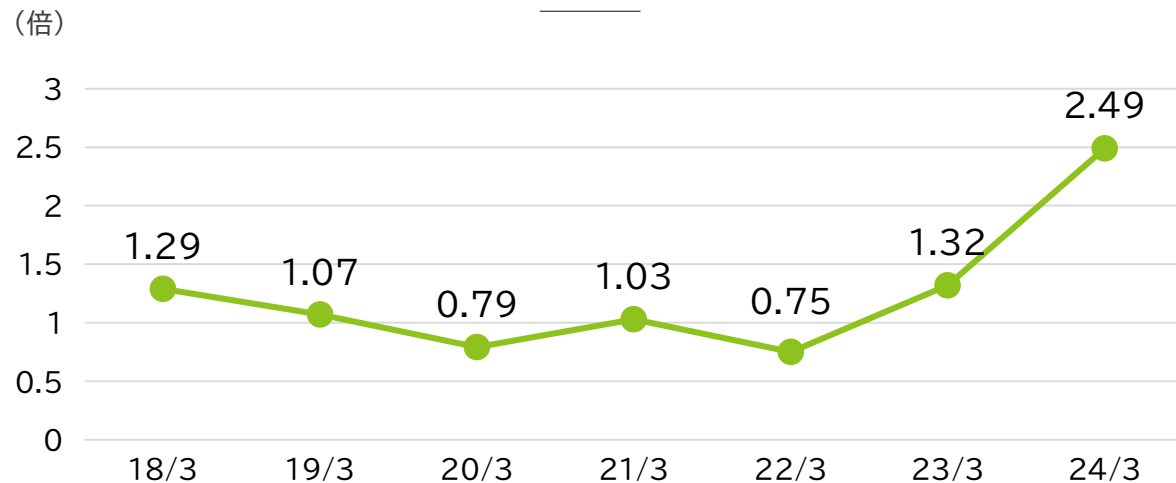
### 配当性向



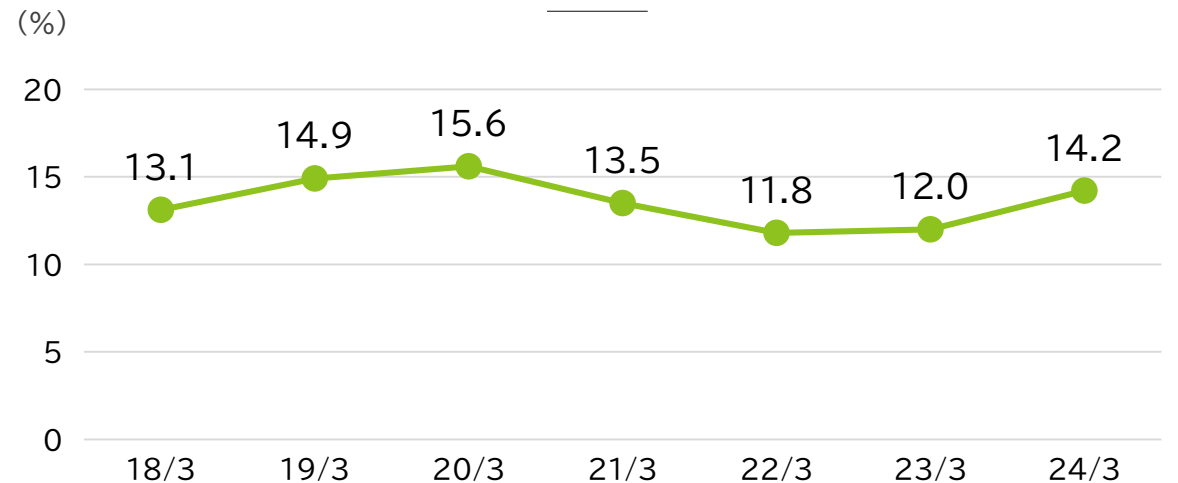
### 自己資本比率



### PBR



### ROE



## 【免責事項】

※本資料に記載している業績予想、計画値、見通し等将来に関する情報は、本資料の公表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なった結果となる可能性があります。従いまして、本資料のみに依拠した投資判断は、くれぐれもお控えくださいますようお願いいたします。

※本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

※本資料は金融商品取引法上の法定開示書類ではなく、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。

※本資料は、投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成しており、投資の勧誘を目的としたものではありません。

## 【お問い合わせ先】

経営戦略本部 広報・IRグループ

TEL:03-6632-7058

MAIL:ir@totech.co.jp